

公的保育、なくさないで!!

東京のと真ん中、「銀座」を元気にパレード



全国保育大集会—大阪自治労連から100人を超える仲間が参加

「子ども・子育て新システム」に反対し、公的保育・学童保育の充実を求める全国集会が14日～15日に東京で開催され、全国各地から4800人が参加。大阪自治労連からも保育・学童保育の職場から100人を超える代表が参加しました。引き続き署名、要請ハガキを集めましょう。

大阪自治労連が「きずなアンケート、報告集を発行



大阪自治労連は（社）大阪自治体問題研究所とともに、4月から8月にかけて大阪全域の府民を対象に実施した「きずなアンケート」（正式名は「くらしと近所のきずな、まちのにぎわいアンケート」）の報告集を発行しました。報告集では、①自治体労働組合としてアンケートに取り組んだ経過と住民要求実現に向けた今後の決意、②府下36市町村で4172件から寄せられたアンケート結果の分析、③行政区別のアンケート集計一覧などを掲載。今後の自治体要求運動に活用していきます。（頒価500円）

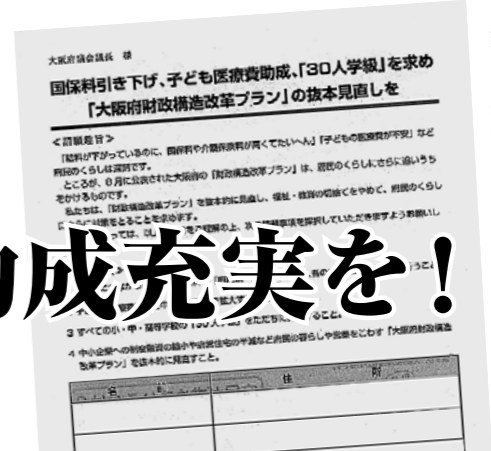
今月のキーワード

私立高の中退者101人

今年4月から9月に経済的理由で中途退学した私立高校の生徒が101人（前年同期比48人減）いたと、全国私立学校教職員組合が調査結果を発表しました。全国332校（約27万人）からの回答で、学費の滞納者は前年同期より384人減り、4203人（1.54%）。経済的理由による中退者は101人（0.04%）でした。私立高校の実質無償化が求められます。

国保料引き下げ、子どもの医療費助成充実を!

府民要求連絡会の署名が各地で反響をよんでいます



地域を訪問して署名を集める東大阪府職労

「国保料が高い」と市民から切実な声が

東大阪

大阪自治労連も参加する「府民要求連絡会」が、大阪府議会に対して、①国保料引き上げにつながる国民健康保険料の「府内統一」をやめ、加入者の負担を軽減すること、②子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大すること、③すべての小・中・高等学校の「30人学級」をただちに実現することなどを求める署名運動に取り組んでいます。来年は統一地方選挙の年。府民犠牲の橋下行軍を許さず、府民の要求実現へ、力を合わせましょう。

住民を犠牲にする橋下府政の転換へ 大阪自治労連が、各地で署名・宣伝行動

「国保料、介護保険料が高いので安くしてほしい」「来月から仕事をしたいが、子どもをあずかってくれる保育所がない」など、訪問した市民からは切実な声が寄せられました。

東大阪職労も参加する「明るい東大阪をつくる会」は11月23日、府民要求連絡会と共催で宣伝・署名行動を実施。15団体から66人が参加して、宣伝カー、ハンドマイクで宣伝し、約330軒の市民を訪問して1時間のうちに124筆の署名が集まりました。参加者は「橋下知事への人気はあるが、府政の中味はあまり知られていない。対話をすればどこも署名をしてくれる」と感想をのべています。

東大阪では、来年10月に行われる市長選挙の勝利とあわせ、府政を変える取り組みに、引き続き奮闘していきます。



駅頭で署名をよびかける高槻市労組

「エッ！橋下さんがそんなことを…」

高槻

「三島救命救急センターへの補助を減らさないで！」という大きな横断幕を駅前広げて署名を訴える中、「橋下さんが、そんなことをやろうとしているの!？」と驚いた市民が次々と署名に協力をしてくれます。高槻市労組も参加する「いのち、教育、医療を守る高槻市民の会（市民の会）」は9月から11月2回のペースで街頭宣伝と署名を実施。署名には行列ができて1時間で200人分の署名が集まっています。

「市民病院が閉院して困っている」

松原

松原市職労は12月5日に統一行動を配置し、署名を持って地域を訪問しました。閉院になった市民病院跡地の周辺を訪問すると「高齢になって今から病院が必要なのに、市民病院がなくなって困っている」「近く

の開業医に自転車通っているが、もしもの時の総合病院がやっぱり必要だ」など、切実な声が寄せられています。

駅前テナントをはって労働・生活なんでも相談会

岸和田

岸和田市職労は、地域の労働組合、民主団体とともに11月27日、



労災、賃金、生活保護などの相談が寄せられました

「第4回労働・生活なんでも相談会」を実施。南海本線岸和田駅前テナントをはり、相談会と血圧測定を行いました。訪れた労働者、市民からは「労災になり、会社から事業主負担を払えと言われた」「パートで働いているが週5日から1日に減らされた。職場では辞めるとばかりに嫌がらせをされている」「退職勧奨で仕事を辞めたが、自己都合にさせられた。今は無職。生活保護の申請はできるのか？」などの相談が16件も寄せられました。